



第9回全日本ロープスキッピング選手権大会概要

全日本ロープスキッピング選手権大会は、日本ロープスキッピング連盟（JRSF）の主催する国内最大のロープスキッピングの大会とし、国際ロープスキッピング連盟（FISAC-IRSF）の定めるルールを基に、アジア・世界選手権大会への代表選考会などを行うと同時に、幅広いロープスキッピングの発展・普及に努める大会とする。なお、第9回全日本ロープスキッピング選手権大会は、第10回世界ロープスキッピング選手権大会（平成26年夏開催予定、開催地は香港）の代表選手の選考を行う大会とする。

1 大会名

第9回全日本ロープスキッピング選手権大会（略称 9JC）

2 大会期日

平成25年12月8日（日）9：30～17：30

3 大会会場

「興本地域学習センター」

〒123-0844 東京都足立区興野 1-18-38 TEL：03-3889-0370

<http://www.kousya.jp/manabi/institution/O9okimoto/summary.phtml>

4 主催

日本ロープスキッピング連盟（JRSF）

5 後援・協力

未定

6 部門

本大会では以下の部門で個人戦は男女別、団体戦は性別を分けずに競技を行う。

<個人戦>

- 小学生低学年の部：2004（平成16）年4月2日～2007（平成19）年4月1日生まれ
- 小学生高学年の部：2001（平成13）年4月2日～2004（平成16）年4月1日生まれ
- 中高生の部：1995（平成7）年4月2日～2001（平成13）年4月1日生まれ
- 一般の部：1995（平成7）年4月1日以前生まれ

<団体戦>

- 小学生低学年の部：2004（平成16）年4月2日～2007（平成19）年4月1日生まれ
- 小学生高学年の部：2001（平成13）年4月2日～2004（平成16）年4月1日生まれ



- 中高生の部 : 1995 (平成 7) 年 4 月 2 日～2001 (平成 13) 年 4 月 1 日生まれ
- 一般の部 : 1995 (平成 7) 年 4 月 1 日以前生まれ

※団体戦の年齢区分は、チーム内の最年長選手の年齢により決定する。

例

選手 A : 大学生 選手 B～D : 高校生 …一般の部

選手 A、B : 中学生 選手 C、D : 小学生低学年 …中高生の部

ただし、競技者数が 4 人 (団体戦は 3 チーム) に達しなかった部門は、その部門をなくし、競技者は次のように指定の部門に移動して競技を行う。

- ① 小学生低学年の部が 4 人 (団体戦は 3 チーム) に達しない場合は、小学生高学年の部と合わせて、小学生の部として競技を行う。
- ② 小学生高学年の部が 4 人 (団体戦は 3 チーム) に達しない場合は、中高生の部と合わせて、小学生高学年・中高生の部として競技を行う。
- ③ 中高生の部が 4 人 (団体戦は 3 チーム) に達しない場合は、一般の部と合わせて、中学生以上の部として競技を行う。
- ④ 一般の部が 4 人 (団体戦は 3 チーム) に達しない場合、③と同様に中高生の部と合わせて、中学生以上の部として競技を行う。
- ⑤ 参加人数 (チーム数) によっては、3 つ以上の部門を統合する場合もある。

7 団体戦のチーム構成

団体戦に参加する選手は、3～7人でチームを組み出場することができる。ただし、1人の選手が2つ以上のチームに重複して所属し、団体戦の種目に参加することはできない。

世界選手権の選考を希望するチームは、4～5人でチームを組み、年齢区分を考慮しなければならない (詳細は「11 世界ロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考」参照)。

8 競技種目

本大会では以下の個人戦 (シングルロープ) 5 種目、団体戦 4 種目を開催する。各種目および総合で 1～3 位を表彰する。ただし、個人戦の三重とびについては、小学生低学年の部では行わない。参加は 1 種目から可能である。

<個人戦>

- ① 30 秒スピード (かけ足とび)
- ② 3 分スピード (かけ足とび)
- ③ フリースタイル
- ④ 30 秒スピード (二重とび)
- ⑤ 三重とび (小学生低学年の部では行わない)
- ⑥ 個人総合 (上記①～③の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照)

<団体戦>

- ① シングルロープスピードリレー
- ② ダブルダッチスピードリレー
- ③ ダブルダッチ 30 秒シングルスピード
- ④ ダブルダッチ 30 秒ダブルスピード

⑤ 団体総合（上記①、②の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照）

9 総合順位計算方法

<個人戦>

個人戦の総合順位は、30秒スピード（かけ足とび）の順位、3分スピード（かけ足とび）の順位、**フリースタイルの順位×2**の合計が小さい選手が上位となるように決定する。順位の合計が同点の場合は、総合得点（以下参照）の高い選手が上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

$$(\text{総合得点}) = (\text{30秒スピード (かけ足とび) の回数} \times 5) + (\text{3分スピード (かけ足とび) の回数}) + (\text{フリースタイルの D+C 得点}) \times 2$$

※フリースタイルのDランク、D得点、CランクおよびC得点については、JRSF ホームページのフリースタイルルールブックを参照。

<団体戦>

団体戦の総合順位は、シングルロープスピードリレーの順位およびダブルダッチスピードリレーの順位の合計が小さいチームが上位となるように決定する。順位の合計が同点の場合、総合得点（シングルロープスピードリレーの回数およびダブルダッチスピードリレーの回数の合計）の高いチームが上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

例

<個人戦>

選手	30秒スピード			3分スピード			フリースタイル				個人総合		
	回数	得点	順位	回数	得点	順位	D得点/ Dランク	C得点/ Cランク	D+C得点/ D+Cランク	順位	順位の 合計	最終 順位	総合 得点
A	97	485	2	490	490	2	248/1	240/1	488/2	1	6	1	1951
B	99	495	1	500	500	1	180/4	210/3	390/7	4	10	2	1775
C	80	400	3	465	465	3	200/3	200/4	400/7	3	13	3	1665
D	79	395	4	380	380	5	220/2	225/2	445/4	2	13	3	1665
E	70	350	6	380	380	5	175/5	180/5	355/10	5	21	5	1440
F	75	375	5	400	400	4	160/6	160/6	320/12	6	21	6	1415

<団体戦>

チーム	シングルロープスピードリレー		ダブルダッチスピードリレー		団体総合		
	回数	順位	回数	順位	順位の合計	最終順位	総合得点
A	360	1	500	1	2	1	860
B	340	2	390	3	5	2	730
C	330	3	400	2	5	2	730
D	280	4	210	5	9	4	490
E	240	5	220	4	9	5	460

10 参加資格

平成25年度日本ロープスキッピング連盟正会員の場合、全種目に参加することができる。非会員が参加できる種目は次の5種目とする。ただし、世界選手権の選考を希望する選手は、会員登録をしてお

かなければならない。

<個人戦>

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 30 秒スピード（二重とび）
- ③ 三重とび

<団体戦>

- ① ダブルダッチ 30 秒シングルススピード
- ② ダブルダッチ 30 秒ダブルスピード

※会員登録については JRSF ホームページ「会員登録」 (http://www.irsf.jp/?page_id=44) を参照。

11 世界ロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考

第 10 回世界ロープスキッピング選手権大会は、2014（平成 26）年に開催予定である（開催時期 7 月末から 8 月初旬、開催地は香港）。部門は World Youth Tournament 12-14 歳の部（以下 WYT、誕生日が 2000～2002 年）、International Open Tournament 15 歳以上の部（以下 IOT、誕生日が 1999 年以前）および FISAC-IRSF 15 歳以上の部（以下 WC、誕生日が 1999 年以前）である。全日本選手権とは部門や種目が異なるので、世界選手権に合わせて、全日本選手権の順位表とは別に、選考用の順位表を作成し、それを参考にして、日本代表選手を選考する。

なお、WC の個人総合および種目別の選考にもれた選手の中から総合順位上位 5 名については、IOT への選考対象とする。ただし、WC 個人戦と IOT 個人戦の両方への参加は認められていない。

● 個人戦総合順位による選考

選考用の総合順位表を作成し、上位から順に、男女それぞれ 4 名を世界選手権の個人戦日本代表選手として選考する。この選考を希望する選手は、以下の 3 種目全てに参加しなければならない。

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 3 分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル

● 個人戦種目別順位による選考

選考用の種目別順位表を作成し、上位から順に、男女それぞれ 1 名ずつを世界選手権の個人戦日本代表選手として選考する。1 種目のみに参加している選手も選考対象とする。対象種目は、次の 4 種目である。ただし、三重とびに関しては上位 3 名を対象とする。

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 3 分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル
- ④ 三重とび

● 団体戦総合順位による選考

選考用の総合順位表（男子の部、女子の部、男女混合の部の 3 部門）を作成し、上位から順に、それぞれ 4 チームずつを世界選手権の団体戦日本代表チームとして選考する。この選考を希望するチームは、以下の 2 種目全てに参加しなければならない。

- ① シングルロープスピードリレー
- ② ダブルダッチスピードリレー

WYT 団体戦に出場する場合、チームの選手全員の年齢が 2014（平成 26）年末時点で 12～14 歳でなければならない。WC 団体戦に出場する場合、チームの選手 1 名の年齢が 2014（平成 26）年末時点で 14 歳以上、かつ残りの全選手が 15 歳以上でなければならない（14 歳の選手を含むチームは、全



部門を通じて1チームのみ派遣予定)。2名以上14歳以下の選手がいる場合、WC団体戦に参加することはできない。IOT団体戦に出場する場合は、チームの選手1名の年齢が2014(平成26)年末時点で15歳以上、残りの選手が12歳以上でなければならない。

チームは4～5名の選手で構成しなければならない。また、全日本選手権から世界選手権参加時においてチームの選手を変更する場合は、4名のチームの場合は1名、5名のチームの場合は2名の変更まで認められる。

例

WC団体戦、IOT団体戦

チームA：チーム全員15歳以上 WC団体戦参加可、IOT団体戦参加可

チームB：チーム中、4名15歳以上、1名14歳 WC団体戦は1チームのみ参加可、IOT団体戦参加可

チームC：チーム中、3名15歳以上、2名12～14歳 WC団体戦は参加不可、IOT団体戦参加可

● 注意点

中学生以下の選手は、原則として保護者が世界選手権大会に付き添うことができなければ、代表選手にはなれない。ただし、JRSFに加盟する団体(なわとびクラブやサークル)のメンバーで、国際大会(世界選手権、アジア選手権)への出場が2回目以上で、所属団体から引率者がいる場合であれば、例外を認める。